

野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第17号
発行日：令和8年2月20日

調査日 令和8年2月18日（水）
調査圃場 55圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、ねぎ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤 (使用方法)	RAC コード	散布量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用 回数
ほうれんそう	べと病	少	増	ランマン フロアブル	21	100～ 300L /10a	2000倍	収穫3日 前まで	3回 以内
	ハウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	アフーム乳剤	6		2000倍	収穫3日 前まで	2回 以内
たまねぎ	べと病	少	増	ジマンダイセン 水和剤※1	M3		400～ 600倍	収穫3日 前まで	5回 以内
	白色疫病	-	並				400～ 500倍		
いちご	ハダニ類	少	並	ピタイチ	-		500倍	収穫前日 まで	-
	アブラムシ類	少	並						
	うどんこ病	少	並	アミスター20 フロアブル	11	1500～ 2000倍	収穫前日 まで	本圃3 回以内	

※1：リドミルゴールドMZとの合計使用回数に注意！（合計5回以内です）

★病害虫の増加に注意！

- ・今回の調査では、たまねぎ、ほうれんそうにべと病の発生が確認されました。そのほかの品目でも、病害虫発生兆候が見られました。
- ・気温が上がると、今後はさらに病害虫が増加すると考えられるため、圃場をよく観察し、病害虫の早期発見・早期防除を心がけましょう。
- ・1月以降は降水量が少なく、ひどく乾燥している圃場がありました。どの品目においても、水不足は作物の生長を阻害します。特にたまねぎは小玉傾向になり、変形を引き起こし、収量に影響を及ぼします。適宜灌水をしましょう。

★神戸西グリーンセンター 春の感謝祭開催！

日時：3月14日（土）
9：30～15：30
場所：グリーンセンター前
☆肥料・農薬の感謝祭特価
価格にて販売！
☆肥料空袋・農薬空ボトル・
廃プラスチック（コンテナ・育苗箱）無料回収！
※委任状が必要です。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第16号
発行日：令和8年1月16日

調査日 令和8年1月14日（水）
調査圃場 52圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、ねぎ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤 (使用方法)	RAC コード	散布量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用 回数
キャベツ	菌核病	少	並	アフェット フロアブル	7	100～ 300L /10a	2000倍	収穫前日 まで	3回 以内
ほうれんそう	べと病	-	増	ピシロック フロアブル	U17		1000倍	収穫前日 まで	2回 以内
たまねぎ	べと病	-	増	シグナム WDG※1	11・7		1500倍	収穫7日 前まで	3回 以内
	灰色かび病	-	並						
いちご	ハダニ類	-	並	サンヨール※2	M01	500倍	収穫前日 まで	6回 以内	
	うどんこ病	少	並			500～ 1000倍			

※1：「葉たまねぎ」には登録がないため、葉つきで出荷する場合は注意が必要です。

ピラクロストロビンやボスカリドを含む農薬の総使用回数は定植前1回以内、定植後3回以内

※2：定植苗に浸漬処理した場合の使用回数は5回以内

★べと病に注意！ 未発生圃場の予防を 心がけましょう！

・今回の調査ではたまねぎ、ほうれんそうともにべと病の発生は確認されませんでしたでしたが、今後の気象状況（気温上昇や多湿条件）次第では発生増加が心配されます

・特に、昨年発生した圃場では、発生する可能性が高くなります。定期的な予防と、発生初期を見逃さないように圃場を観察し、発生を確認した場合は、圃場外へ持ち出し薬剤防除を実施するなど、早めの対応を心がけましょう。



★追肥を忘れずに！

寒さが強まり、生育遅れが見られる品目もあります。即効性のある化成肥料や葉面散布剤を散布し、生育を助けてあげましょう。

☆水がないと肥料を吸収できないので、乾燥しているほ場では灌水や葉面散布を行ってください。

★雑草の管理をしましょう！

今回の調査で雑草が多くの圃場で確認されました。雑草は病害虫発生の原因にもなりますので、適切に管理しましょう。

※たまねぎでは雑草を抜く際、根を傷めると抽苔する原因になるので、注意しましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第15号
発行日：令和7年12月12日

調査日 令和7年12月10日（水）
調査圃場 51圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、玉ねぎ、人参、じゃがいもなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	RA C コード	散布 液量 (使用量)	希釈倍数 (または使 用量)	使用 時期	本剤の 使用回 数
ブロッコリー	黒腐病	少	並	Zボルドー	M1	100～300 L/10a	500倍～ 1000倍	—	—
ブロッコリー (はなやさい類)	菌核病			パレード20 フロアブル	7		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回 以内
いちご	アブラムシ類	少	並	ウララDF	29		2000倍～ 4000倍	収穫前日 まで	2回 以内

★病気の発生に注意！

・気温が下がり、害虫の発生は各品目減少傾向にあります。一方で、ブロッコリーでは黒腐病と菌核病の発生が確認されました。予防に努めましょう。

★アブラムシ類を防除しましょう！

- ・施設栽培のいちごでアブラムシ類が確認されました。発生初期の防除に努めましょう。
- ・露地栽培のキャベツやブロッコリーなどでも、虫や死骸が付着していないか、確認してから出荷しましょう。

★雑草の管理をしましょう！

・今年度は少雨に加え、圃場の排水性の悪さ等により、雑草が多く圃場で確認されました。雑草は病気発生の原因にもなりますので、適切に管理しましょう。



★追肥を忘れずに！

・寒暖差が大きくなり、生育遅れが見られる品目もあります。本格的に寒くなる前に、即効性のある化成肥料や葉面散布剤を散布し、生育を助けてあげましょう。

☆水がないと肥料を吸えないので、乾燥が続く際は灌水してください。

★玉ねぎの追肥は年明けに！

・年内に大きくなりすぎても、低温期に肥切れしても、抽苔します。年内は肥料を控え、1月になったら追肥してください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第14号
発行日：令和7年11月14日

調査日 令和7年11月12日（水）
調査圃場 56圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、玉ねぎ、人参、じゃがいもなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	RA C コード	散布 液量 (使用量)	希釈倍数 (または使 用量)	使用 時期	本剤の 使用回 数
キャベツ ブロッコリー (はなやさい類)	ハスモンヨトウ	中	並	プロフレア SC	30	100~300 L/10a	2000~ 4000倍	収穫前日 まで	3回 以内
	シロイチモジ ヨトウ	少							
	オオタバコガ	少							
ブロッコリー	べと病	少	増	アミスター 20 フロアブル	11		2000倍	収穫前日 まで	3回 以内
いちご	ハスモンヨトウ	少	並	グレーシア 乳剤	30		2000倍	収穫前日 まで	2回 以内
	ハダニ類								
ねぎ	アザミウマ類	少	並	スピノエース 顆粒水和剤	5		2500~ 5000倍	収穫3日 前まで	3回 以内
	シロイチモジ ヨトウ						5000倍		

★あぶらな科の病害虫に注意！

・チョウ目害虫（オオタバコガ、ヨトウ類）は、キャベツやブロッコリーなどの中に潜り込んで、薬剤が届かないことがあります。散布後は効果の確認をしてください。

・多くの品目で、アザミウマ類やアブラムシ類の発生が確認されました。圃場周辺の雑草管理を行い、葉裏や生長点をよく観察し、早めの防除を心がけましょう。

・ブロッコリーでべと病等、病気の発生が一部確認されました。風雨によって感染が広がるので、降雨前には圃場の排水のチェックと予防的な薬剤散布を実施しましょう。長雨の後等は特に注意して圃場を確認しましょう。

また、べと病は発生が見られたら、被害株や発病葉は次回以降の作での感染源となりますので、ビニールや肥料袋等に密閉して、圃場の外で処分しましょう。

★農薬のローテーション防除について

同じ系統の農薬を繰り返さず、作用機構（IRACコード）の異なる薬剤を順番に使用し、病害虫の抵抗性発達を防ぐ方法です。例えばチョウ目害虫では発生初期はBT剤やIGR剤、盛期はジアミド系、その後はスピノシン系統へ切り替えを行うことで効果を持続できます。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第13号
発行日：令和7年10月10日

調査日 令和7年10月8日（水）
調査圃場 43圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、レタス、にんじん、玉ねぎなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	RACコード	散布液量 (使用量)	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
キャベツ	ハスモンヨトウ	多	増	アニキ乳剤	6	100~300 L/10a	1000~ 2000倍	収穫3日前 まで	3回以 内
	オオタバコガ	一							
ブロッコリー (はなやさい類)	ハスモンヨトウ	多	増	グレース 乳剤	30		2000~ 3000倍	収穫7日前 まで	2回以 内
	シロイチモジ ヨトウ	一							
	オオタバコガ	少							
きゅうり	コナジラミ類	中	並	ウララDF	29		2000倍	収穫前日ま で	3回以 内
ばれいしょ	ヨトウムシ	中	増	ジェイエー ス水溶剤	1B	1000倍	収穫30日 前まで	2回以 内	
こまつな	ハスモンヨトウ	中	増	ディアナSC	5	2500~ 5000倍	収穫前日ま で	2回以 内	

★ブロッコリーの黒すす病予防を！

- ・近年ブロッコリーで「黒すす病」による花蕾の腐敗が多発しています。
- ・黒すす病は最初に葉に発生するので、花蕾に伝染する前に防除することが大事です。
- ・葉に、周りが黄化した黒点や輪紋状の斑点が発生したら薬剤散布を行ってください。
また、風雨によって感染が広がるので、台風や長雨の後も薬剤散布をしてください。
- ・小さな花蕾ができたらずら防みましょう！



薬剤例（黒すす病）：アミスター20フロアブル（2000倍、収穫前日まで、3回以内）
パレード20フロアブル（2000~4000倍、収穫前日まで、3回以内）

- ・あぶらな科を中心にハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ等が多数確認されました。**注意報**も発表されており、今後もオオタバコガを含め増加が予想されます。老齢幼虫になると薬剤が効きにくいことがありますので、薬剤のローテーション防除を行いながら定期的な防除を実施し、散布したからと安心せずに、**散布後は効果の確認**を実施して下さい。
- ・特に葉裏に卵を産み付けているのを見つけたら、早急に除去しましょう。

！！渇水警報発令中！！ 吞吐ダムの貯水率は低い状況にあります。
節水を心がけ、水の使用には細心の注意を払いましょう！

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック



野菜病害虫発生予察情報

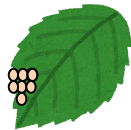
令和7年度 第12号
発行日：令和7年9月26日

調査日 令和7年9月24日（水）
調査圃場 38圃場（軟弱、きゅうり、キャベツ、ブロッコリー、にんじんなど）
調査機関 兵庫県農林水産技術総合センター、神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部
神戸市西農業振興センター、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類 (みずな、非結球は くさいを除く)	ハイマダラノ メイガ	中	増	スピノエース 顆粒水和剤	100～ 300L/10a	2500～ 5000倍	収穫14 日前まで	2回以内
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	少	増	プレオ フロアブル		1000倍	収穫前日 まで	2回以内
キャベツ	ハスモンヨトウ	多	増	ブロフレア SC		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
	ハイマダラノメイガ	多	増					
シロイチモジヨトウ	多	増						
ブロッコリー	シロイチモジヨトウ	多	増	ディアナ SC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
	ハイマダラノメイガ	多	増					
	ハスモンヨトウ	多	増					
きゅうり (うり類(未成熟))	コナジラミ類	中	並	グレーシア乳剤	2000倍	収穫前日 まで	2回以内	

★害虫が増加しています！

- ・キャベツやブロッコリー等、多くの品目で**ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、ハイマダラノメイガ**（ダイコンシンクイムシ）等が多数確認されました。**注意報**も発表されており、今後増加することが予想されます。老齢幼虫になると薬剤が効きにくいことがありますので、定期的な薬剤防除を実施し、散布したからと安心せず、**散布後は効果の確認**を実施して下さい。
- ・特に葉裏に卵を産み付けているのを見つけたら、早急に除去しましょう。



★生えてからでは大変！ 雑草対策をしましょう！

- ・雑草は野菜の肥料成分の吸収を妨げるだけでなく、病害虫の発生源にもなります。
- ・圃場内の雑草は雑草発生前の土壌処理剤や選択性除草剤、中耕などで抑え、圃場周辺の雑草も定期的に草刈りをするなど、圃場の管理に努めましょう。



**！！渇水警報発令中！！ 吞吐ダムの貯水率は低い状況にあります。
節水を心がけ、水の使用には細心の注意を払いましょう！**

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第11号
発行日：令和7年9月12日

調査日 令和7年9月10日（水）
調査圃場 40圃場（軟弱、きゅうり、キャベツ、ピーマン、など）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	IRACコード	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイ除く)	アブラムシ類	少	増	アグロスリン 乳剤 (劇)	3A	100～ 300L/10a	2000倍	収穫前日まで	2回以内
キャベツ	ハイマダラノ メイガ	中	増	ディアナSC	5		2500～5000 倍	収穫前日まで	2回以内
	ハスモンヨトウ								
きゅうり	ハスモンヨトウ	少	増	グレーシア 乳剤	30		2000倍	収穫前日まで	2回以内
	ウリノメイガ								
ピーマン及び とうがらし類	コナジラミ類	中	増						
未成熟 とうもろこし	オオタバコガ	多	増	ヨーバル フロアブル	28	5000倍	収穫前日まで	3回以内	
	アワノメイガ	少							

★病害虫の発生予察注意報が出ています！

9月11日（木）に兵庫県病害虫防除所で、ハスモンヨトウの注意報が発表されました。また、兵庫県ではシロイチモジヨトウ・ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）の注意報も出ています。今回の調査でも、多くの品目で上記害虫が多発し、食害されている圃場が確認されました。被害がひどい場合は出荷が困難になるので早めの防除を徹底しましょう。

また、今後も上記の害虫が大きく増加することが見込まれます。

農薬を散布する際は葉裏まで意識して散布し、後日、薬剤が効いているかの確認を行ってください。また、害虫が残っているようであれば、薬剤のローテーションを意識して防除を行ってください。

(必ず対象品目、使用方法・量・時期等を確認して使用してください)

★農薬のローテーション防除について

同じ系統の農薬を繰り返さず、作用機構（IRACコード）の異なる薬剤を順番に使用し、害虫の抵抗性発達を防ぐ方法です。例えば発生初期はBT剤やIGR剤、盛期はジアミド系、その後はスピノシン系統へ切り替えを行うことで効果を持続できます。

！！ 渇水警報発令中！！ 呑吐ダムの貯水率は低い状況にあります。

節水を心がけ、水の使用には細心の注意を払いましょう！

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第10号
発行日：令和7年8月22日

調査日 令和7年8月20日（水）
調査圃場 26圃場（軟弱、きゅうり、なす、スイートコーン、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	IRACコード	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科葉菜類（チンゲンサイ・畑わさびを除く）	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	4A	100～300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
非結球あぶらな科葉菜類（みずな、非結球はくさいを除く）	ハイマダラノメイガ	中	増	スピノエース顆粒水和剤	5		2500～5000倍	収穫14日前まで	2回以内
きゅうり	コナジラミ類	少	増	ディアナSC			2500倍	収穫前日まで	2回以内
野菜類（キャベツ、はくさいを除く）	シロイチモジヨトウ	中	増	ゼンターリ顆粒水和剤	11A		1000倍	発生初期（但し、収穫前日まで）	-
とうもろこし	アワヨトウ	少	増	トレボン乳剤	3A		1000倍	収穫7日前まで	4回以内

★病害虫の発生予察注意報が出ています！

兵庫県では、シロイチモジヨトウとハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）の注意報が出ています。今回の調査でも、非結球あぶらな科葉菜類でハイマダラノメイガが多発し、成長点が食害されている圃場が複数確認されました。被害がひどい場合は出荷が困難になるので早めの防除を徹底しましょう。また、葉裏に卵塊を生成し集団で食害を行うシロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ等の害虫も確認されています。

キャベツやブロッコリー等の苗等では、加害を確認してからの対策では手遅れとなります。定植前、定植後の薬剤のローテーションを意識した予防的防除に努めましょう。（例：アニキ乳剤、グレーシア乳剤等がありますが、必ず対象品目、使用方法・量・時期等を確認して使用してください）

★農薬のローテーション防除について

同じ系統の農薬を繰り返さず、作用機構（IRACコード）の異なる薬剤を順番に使用し、害虫の抵抗性発達を防ぐ方法です。例えば発生初期はBT剤やIGR剤、盛期はジアミド系、その後はスピノシン系統へ切り替えを行うことで効果を持続できます。

！！渇水警報発令中！！ 呑吐ダムの貯水率は低い状況にあります。節水を心がけ、水の使用には細心の注意を払いましょう！

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第9号
発行日：令和7年8月8日

調査日 令和7年8月6日（水）
調査圃場 18圃場（軟弱、きゅうり、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSA I、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	中	並	プレバソン フロアブル5	100～ 300L/10a	2000倍	収穫前日 まで	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	甚	並	ヨーバル フロアブル		2500～ 5000倍	収穫3日 前まで	
きゅうり	アブラムシ類	少	並	トレボン乳剤		1000倍	収穫前日 まで	
	コナジラミ類	中						
モロヘイヤ (野菜類(キャベツ、はくさいを除く) で登録)	シロイチモジヨトウ	少	並	ゼンターリ 顆粒水和剤		発生初期 (ただし 収穫前日 まで)	—	

★育苗期・定植前後の病害虫に注意！



育苗期や定植前後は、作物の健全な生育のために最も重要な管理時期です。この時期に病害虫を適切に防除することが、後の収量や品質に大きく影響します。

特に、兵庫県でハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）の発生予察注意報が出ています。アブラナ科の野菜類・花き類で多発する可能性があり、定植前の苗等では多発すると大きな減収となります。加害を確認してからの対策では手遅れとなりますので、予防的な薬剤防除に努めましょう。

また、定植後もヨトウムシ類、アブラムシ類、コナジラミ類等の発生が予想されます。初期被害が生育に大きな影響を及ぼすおそれがありますので、定期的なほ場の観察で発生を見逃さず、速やかに対応しましょう。

★果菜類の尻ぐされ対策をしましょう。

今回の巡回圃場では果菜類の尻ぐされ症状（石灰欠乏）が一部確認されました。

高温等による根の傷みや土壌の乾燥により、土壌中の石灰（カルシウム成分）が吸えないことが原因の生理障害です。

カルシウム剤（例：カルプラス 等）を週1回程度葉面散布するなどして、予防しましょう。※生理障害が既に出ているものを治すものではありません。



**！！渇水警報発令中！！ 呑吐ダムの貯水率は低い状況にあります。
節水を心がけ、水の使用には細心の注意を払いましょう！**

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック!!



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第8号
発行日：令和7年7月25日

調査日 令和7年7月23日（水）
調査圃場 30圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSA I、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
こまつな チンゲンサイ	ハスモンヨトウ ハマダラメガ	少	増	ディアナSC	100～ 300L /10a	2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	増	スピノエース 顆粒水和剤		2500～ 5000倍	収穫3日 前まで	3回以内
ニラ	アザミウマ類	中	増	スピノエース 顆粒水和剤		10000倍	収穫前日 まで	3回以内
きゅうり トマト	コナジラミ類	中	増	スタークル顆粒 水溶剤		2000～ 3000倍	収穫前日 まで	2回以内
ピーマン	オオタバコガ	少	増	アフーム乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
えだまめ	カメムシ類	多	増	アグロスリン乳 剤(劇)		2000倍	収穫7日 前まで	3回以内

★高温による害虫の増加に注意！

・ハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイムシ)やハスモンヨトウ等の害虫が増えてくる時期です。

定植前の苗等では特に、加害を確認してから対策では手遅れとなります。予防的防除に努めましょう。



(例：プロフレアSC、グレーシア乳剤 等がありますが、必ず対象品目、使用方法・量・時期等を確認して使用してください)

・兵庫県よりカメムシ類の発生について注意報が発表されています。野菜類(例：ピーマン、ナス、えだまめ等)でも被害が懸念されます。圃場周辺の雑草管理や、薬剤による防除(例：スタークル顆粒水溶剤等)で被害を防ぎましょう。

★栽培後の片付けを早めに行いましょう。

・害虫が増殖しやすい時期です。
・秋冬作の準備もあり、忙しい時期ではありますが、収穫期間終了後の植物体や、乾燥していない残渣は**病害虫の発生源**になります。次作への影響や、周囲への病害虫の飛散が懸念されますので、早めに片付けましょう。

・片付ける時間が取れない場合は、ハウスを閉めきる、株元を切って**枯死させる**など、まずは植物体を生きたまま「放置」しないように努めてください。



！！渇水警報発令中！！ 吞吐ダムの貯水率は低い状況にあります。節水を心がけ、水の使用には細心の注意を払いましょう！

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック!!



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第7号
発行日：令和7年7月11日

調査日 令和7年7月9日（水）
調査圃場 33圃場（軟弱、きゅうり、トマト、スイートコーン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
こまつな チンゲンサイ	ハイマダラノメイガ	少	並	ディアナSC	100～ 300L/10a	2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	並	ヨーバル フロアブル		2500～ 5000倍	収穫3日前 まで	3回以内
	シロイチモジヨトウ	中	並			2000倍	収穫前日 まで	3回以内
とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ	中	並	プレバソン フロアブル5		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
未成熟 とうもろこし	カメムシ類	中	並	スタークル 顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	中	増	ダントツ水溶剤	2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内	

！！ 渇水警報発令中！！ 吞吐ダムの貯水率は7/11時点で約40%と低い状況にあります。節水を心がけ、水の使用には細心の注意を払いましょう！

★スイートコーンの害虫に注意！

- ・スイートコーンでオオタバコガ、アワノメイガ、カメムシ類、アブラムシ類等の害虫被害が増加しています。
- ・大量発生してからでは手遅れになりますので、発生初期の防除に努めましょう。

★スイートコーンは適期に収穫しましょう！

- ・今年は梅雨明けが例年より早く、高温が続いており、スイートコーンの収穫適期が早まっている可能性があります。

登熟時期は圃場の水分を切らさないように注意し、圃場を巡回し、試しどりをして確認する等、適期を逃さないようにしましょう。

★果菜類の尻ぐされ対策をしましょう。

今回の巡回圃場では果菜類の尻ぐされ症状（石灰欠乏）が多く確認されました。

高温による根の傷みや土壌の乾燥により、土壌中の石灰（カルシウム成分）が吸えないことが原因の生理障害です。

カルシウム剤（例：カルプラス等）を週1回程度葉面散布するなどして、予防しましょう。※生理障害が既に出ているものを治すものではありません。

★7月19日（金）（土）9:30～15:30 グリーンセンター夏の感謝祭開催！

場所：神戸西営農総合センター グリーンセンター前

★商品ご購入者限定 暑さ対策用品プレゼント！

★肥料空袋・農薬空ボトル・廃プラスチック回収（委任状が必要です）

★「農活」セミナー同時開催！（事前にお申し込みください）



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック！！



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第6号
発行日：令和7年6月20日

調査日 令和7年6月18日（水）
調査圃場 33圃場（軟弱、きゅうり、スイートコーン、トマト、ピーマンなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類 (チゲンサイ・畑わさび を除く)	アブラムシ 類	中	増	スタークル 顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	3000倍	収穫3日 前まで	2回以内
きゅうり	アブラムシ類	中	増	コルト顆粒水和剤		4000倍	収穫前日 まで	3回以内
	うどんこ病	少	増	アミスター20 フロアブル		1500～ 2000倍	収穫前日 まで	4回以内
ピーマン及び とうがらし類	アザミウマ類	中	増	グレースシア乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
モロヘイヤ	アザミウマ類	少	増	スピノエース 顆粒水和剤		5000倍	収穫3日 前まで	3回以内
とうもろこし	アブラムシ類、 アワナガ	少	増	アグロスリン乳剤 (劇)		1000～ 2000倍	収穫7日 前まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	少	増	スタークル 顆粒水溶剤		2000倍	収穫7日 前まで	2回以内

★梅雨時期の管理に注意

- 多湿条件下では病害やナメクジ等の発生が懸念されます。以下の対策を実施してください。
 - ① 施設内の換気をするなど風通しをよくし、多湿を避ける。
 - ② 病気が発生している葉や残渣は圃場外へ持ち出す。(他へ移るのを防ぐため)
 - 管内全域でナメクジ等の被害が多発しています。
 - ハウスのすそ等の隙間など侵入経路をなくす。
 - ハウスの周りを除草して居場所をなくす。
 など、いま一度栽培環境を確認しましょう。
- また、被害の出ている圃場では異物として混入しないよう、出荷調整時にしっかり確認しましょう。

★害虫の発生が増加しています！

- 気温の上昇に伴い、アブラムシ類・アザミウマ類・ハダニ類等の害虫の増加が確認されています。
- 圃場の中でも部分的に発生していることがありますので、こまめに圃場を巡回し、発生の有無を確認するようにしてください。
 - 多発してからでは防除が難しくなるため、発生初期に対応するようにしてください。
 - 出荷物に付着していると異物混入になります。出荷調整時に目視で確認しましょう。

注意

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック！！



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第5号
発行日：令和7年6月6日

調査日 令和7年6月4日（水）
調査圃場 48圃場（軟弱、きゅうり、スイートコーン、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
農薬メーカー、神戸市、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	アザミウマ類	少	増	グレースシア乳剤	100~ 300L/ 10a	3000倍	収穫7日 前まで	1回
ほうれんそう	アザミウマ類	少	増	ディアナSC		2500~ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ブロッコリー	コナガ	中	並	ディアナSC		2500~ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
きゅうり	アブラムシ類 アザミウマ類	少	増	ハチハチ乳剤（劇）		1000~ 2000倍	収穫前日 まで	2回以内
ピーマン	アブラムシ類	少	増	モベントフロアブル		2000倍	収穫前日 まで	3回以内

★害虫の増加に注意！

- 今回の調査では多くの品目においてアブラムシ類やアザミウマ類等の害虫の発生が確認されました。
- 今後気温の上昇とともに増加すると考えられます。次のことに気を付けましょう。

①発生の予防

- 圃場周辺の草刈り
- 水管理（乾燥しすぎないように注意！）
- 残渣を残さない（じゃがいもやタマネギ等の残渣が圃場に残っていて残渣に害虫がついていると、他の作物へ移る場合がありますので、残渣の片づけも早めに行ってください）

- ②発生初期の薬剤散布：多発してからでは防除が難しくなるため、発生初期に対応するようにしてください。

★農薬の登録情報を確認しましょう！

形は似ていても、農薬登録上は異なる作物として分類される作物があります。

大グループ	作物	例
野菜類	トマト	ミニトマト

出荷目的（収穫時期ごとに登録が違う作物）例

作物名	部位名	大グループ名	中グループ名
とうもろこし	ヤングコーン	野菜類	—
	未成熟とうもろこし (スイートコーン)	穀類	とうもろこし
	とうもろこし(子実) (成熟した種子)		

- ★農薬使用時はラベルを必ず確認して使用しましょう。
- ★不明点があれば、営農相談員へ確認するようにしてください。
- ★栽培日誌を記帳しましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！こちらの二次元バーコードからチェック！！



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第4号
発行日：令和7年5月23日

調査日 令和7年5月21日（水）
調査圃場 47圃場（軟弱、きゅうり、スイートコーン、トマト、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科葉菜類 (チゲンサイ、畑わさびを除く)	アブラムシ類	中	並	スタークル 顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	3000倍	収穫3日前 まで	2回以内
きゅうり		少	増	アディオン乳剤		2000～ 3000倍	収穫前日 まで	3回以内
ばれいしょ	テントウムシ ダマシ類	少	増				収穫14日 前まで	4回以内
とうもろこし	アワノメイガ	少	並	パダン粒剤4(劇)※	-	6kg/10a	収穫7日前 まで	2回以内
えだまめ	ハスモンヨト ウ	少	並	トレボン乳剤	100～ 300L/10a	1000～ 2000倍	収穫14日 前まで	2回以内

※株の上から均一に散粒

★カタツムリ・ナメクジ被害に注意！

カタツムリやナメクジによる被害が発生しています。発生時にはハウスの侵入口付近や作物近辺等に薬剤を均一に処理してください。**薬剤が作物にかからないように注意してください。**
おすすめ農薬例：『ナメクリーン3』



品目	適用病害虫	10a 当たり 使用数	使用時期	本剤の 使用回数	メタアルデヒドを含む農薬の 使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	ナメクジ類	1～3kg	収穫3日前 まで	2回以内	6回以内（但し、株元散布は2回以内）
キャベツ			収穫14日 前まで		6回以内（但し、散布及び株元散布は 合計3回以内(株元散布は2回以内)）

★アブラムシ類の増加に注意！

・今回の予察ではアブラムシ類の発生が様々な品目で確認されました。こまめに圃場を確認し、発生初期の薬剤散布に努めましょう。
*成長点付近の新葉や葉裏に潜んでいることが多いので注意して観察してください。

★コナガ・オオタバコガの増加に注意！

・兵庫県病害虫防除所からコナガ・オオタバコガの発生が全国的に急増していることが発表されました。
主な加害作物
コナガ：主にアブラナ科野菜（キャベツ、こまつな等）
オオタバコガ：野菜類全般（キャベツ、トマト、ピーマン、スイートコーン等）
注意点：どちらも老齢幼虫になると殺虫剤の効果が低下するため、発生初期の防除を実施してください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第3号

発行日：令和7年5月9日

調査日 令和7年5月7日(水)

調査圃場 39圃場(軟弱、トマト、スイートコーン、たまねぎ、えだまめ など)

調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、神戸西農業振興センター、JA全農兵庫県本部、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
ほうれんそう	ホウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	ディアナ SC	100~ 300L/10a	2500倍	収穫前日 まで	2回以内
たまねぎ	べと病	多	増	アミスター20 フロアブル		2000倍	収穫前日 まで	4回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	少	増	アディオン乳剤		2000~ 3000倍	収穫14日前 まで	4回以内

今回発生は確認されませんでした。スイートコーンで「アワノメイガ」等の発生が予想されます。雄穂が出穂している圃場では「パダン粒剤4(劇)」等で防除しましょう。(6kg/10a、収穫7日前まで、2回以内、株の上から均一に散粒)

★害虫の増加に注意！

- ・気温の上昇に伴い、アブラムシ類やアザミウマ類、キスジノミハムシなどの害虫の増加が予想されます。
 - ・湿度の上昇に伴い、カタツムリ等も発生が確認されました。
- *こまめに圃場を確認し、除草による発生の予防や発生初期の薬剤散布に努めましょう。
*圃場周辺の雑草にも害虫が潜み、圃場へ移動することが考えられます。除草により発生源を無くしましょう。

★玉ねぎべと病発生圃場は適切に処理しましょう

- ・多くの圃場でべと病の発生が確認されました。罹病株は次回以降の作での感染源となりますので、すき込まずに抜き取り、ビニールや肥料袋等に密閉して圃場の外で処分しましょう。
- ・圃場内でべと病の被害が甚大で抜き取りが難しい場合はお近くの営農相談員等に相談し、適切な対処をしましょう。



【熱中症に注意しましょう！】

気温が高なくても湿度が高いと熱中症のリスクがあります。帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分補給を行いましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！
こちらの二次元バーコードからチェックしてみてください！



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第2号
発行日：令和7年4月23日

調査日 令和7年4月23日（水）
調査圃場 50圃場（軟弱野菜、にら、トマト、たまねぎ、えだまめ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類 (チゲンサイ、畑わさ びを除く)	アブラムシ類	少	並	スタークル 顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	3000倍	収穫3日前 まで	2回以内
ミニトマト	うどんこ病	甚大	並	アフェット フロアブル		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
たまねぎ	べと病	中	増	リドミルゴールド MZ※		500～ 1000倍	収穫7日前 まで	3回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水 溶剤 (劇)		2000～ 6000倍	収穫7日前 まで	3回以内
レタス	アブラムシ類	少	並	アディオオン乳剤		2000～ 3000倍	収穫3日前 まで	5回以内
とうもろこし	アブラムシ類	少	並	アディオオン乳剤		2000～ 3000倍	収穫14日前 まで	4回以内

※ジマンダイセン水和剤との合計使用回数に注意！

【たまねぎのべと病が多発！！】

多くのたまねぎの圃場でべと病の発生が見られました。
次のような場合は、今一度薬剤防除を実施しましょう！

★出荷まで（2週間程）期間がある。

★直近の薬剤散布から日数が経過している。

べと病が進行し、たまねぎの中まで入ってしまうと品質が低下します。これ以上の蔓延を防ぐ対策を実施しましょう。



【気温の上昇に伴う病害虫の増加に注意！】

品目問わず多くの圃場でアブラムシ類の発生が見られました。気温の上昇により、今後「アブラムシ類」をはじめ「キスジノミハムシ」や「アザミウマ類」等の害虫の活動が活発になっていきます。発生初期に対応できるよう、圃場をこまめに観察し、周辺雑草の処理等、発生を抑制するような取組を実施しましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

JA兵庫六甲のHPで病害虫発生予察情報が確認できます！
こちらの二次元バーコードからチェックしてみてください！



野菜病害虫発生予察情報

令和7年度 第1号
発行日：令和7年4月11日

調査日 令和7年4月9日（水）
調査圃場 48圃場（軟弱、トマト、スイートコーン、にら、ねぎ、たまねぎ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、兵庫県病害虫防除所、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類（チンゲンサイ、 畑わさびを除く）	アブラムシ類	少	並	スタークル 顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	3000倍	収穫3日 前まで	2回以内
	キスジノミハムシ	少	並			2000倍		
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日 前まで	3回以内
たまねぎ	べと病	中	増	ダコニール1000		1000倍	収穫7日 前まで	6回以内
いちご (野菜類で登録)	ハダニ類	少	並	フーモン	150～ 500L/10a	1000倍	収穫前日 まで	—

【たまねぎのべと病に注意！！】

・一部のたまねぎの圃場でべと病の発生が見られました。降雨後は特に、病原菌が広がりやすいため、圃場をよく観察し薬剤防除を実施して下さい。
注意：すでに発生が確認されているほ場では、ランマンフロアブル（2000倍、100～300L/10a、収穫7日前まで、4回以内）等を散布してください。

◆対策◆

・罹病した株は、直ちに抜き取りビニールに密閉して圃場の外で処分する。周辺半径2m程の株については特に注意して確認してください。
・薬剤散布をしていない圃場では発生の有無にかかわらず、薬剤防除する。

【害虫の増加に注意！】

・気温の上昇に伴い、アブラムシ類やアザミウマ類、キスジノミハムシなどの害虫の増加が予想されます。
*こまめに圃場を確認し、発生の予防や発生初期の薬剤散布に努めましょう。
*畦畔の草刈り後に害虫が近隣圃場へ移動することが考えられます。侵入経路を塞ぐなど、対策をしましょう。

【熱中症に注意しましょう！】

気温が高なくても湿度が高いと熱中症のリスクがあります。帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分補給を行いましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。